



HP ユーザーガイド

HP Color LaserJet

Managed MFP E786dn

電子メールへのスキャン (Scan To Email) 設定手順

Rev.2



目次

1. 事前準備	3
2. 設定手順	4
3. 動作テスト	11
4. トラブルシューティング	15



1. 事前準備

電子メールへのスキャン (Scan To Email) 機能を使用する場合は、電子メールサーバが必要となります。
設定を始める前に、以下の情報を調べ、記録して下さい。

メールサーバのホスト名、又は IP アドレス	
メールサーバの SMTP サービスの TCP ポート番号 (通常は 25 番)	
メールサーバがユーザー認証を必要とする場合には、 ユーザー名とパスワード	ユーザー名： パスワード：

2. 設定手順

EWS [Embedded Web Server] (内蔵 Web サーバ) を表示します。

EWS (内蔵 Web サーバ) とは、製品に内蔵されている Web 管理ツールです。

製品の機能設定や、ステータスを確認することができます。

この機能を使用するには、製品とパソコンが同一のネットワークに接続されている必要があります。

EWS の表示方法は、ユーザーガイド『EWS の表示方法』をご参照下さい。

2.1.EWS 画面で、

- (1)上部にあるメニューバーで、**ネットワーク** をクリックします。
- (2)新たに表示された左面で、**TCP/IP の設定** をクリックします。
- (3)新たに表示された画面中央で、**ネットワーク ID** をクリックします。



2.2. 正しく DNS サーバが指定されていることを確認します (ネットワーク管理者に確認して下さい)。



2.3.EWS 画面で、

- (1)上部にあるメニューバーで、**スキャン/デジタル送信** をクリックします。
- (2)新たに表示された左面で、**電子メールおよび[スキャンしてネットワークフォルダに保存]クイックセットアップウィザード** をクリックします。
- (3)**電子メールセットアップ** をクリックします。



2.4. 継続 をクリックします。



2.5. 次の操作を実行します。

- (1)送信 SMTP を追加 をクリックします。
- (2)表示された サーバ名 と ポート番号 に記録しておいた情報を入力します。
- (3)次へ をクリックします。



- 2.6. [電子メールサーバ (SMTP) を設定]では、メールサーバがユーザー認証を必要とするかどうかを選択して下さい。ユーザー認証が不要な場合には **サーバによる認証が不要** をクリックします。ユーザー認証が必要となる場合には、**サーバに認証が必要です** を選択します。ここでは、表示されたプルダウンリストから、**常にこれらの認証情報を使用する** をクリックする手順を記載します。



2.7. アクセスの確認をします。

- (1) **ユーザー名**と **パスワード** に記録している情報を入力します。
- (2) **アクセスの確認** にチェックを入れます。
- (3) **次へ** をクリックします。

電子メールセットアップ

電子メールサービス (SMTP) を設定

サービスによる認証が不要

サービスに認証が必要です

常にこれらの認証情報を使用する

ユーザー名: abc@xyz.com パスワード: abc@1234

アクセスの確認

前へ **次へ** キャンセル

アクセスに失敗すると、「操作が失敗しました。」エラーメッセージが表示されますので、**前へ** をクリックし、[手順 2.5](#) からやり直します。

電子メールセットアップ

操作が失敗しました。
次のステップを修正して、再試行してください。
1. サービスに接続できませんでした。 サービス設定を確認してください。

電子メールサービス (SMTP) を設定

サービスによる認証が不要

サービスに認証が必要です

常にこれらの認証情報を使用する

ユーザー名: パスワード:

アクセスの確認

前へ **次へ** キャンセル



2.8. デフォルトの差出人電子メールアドレスを入力し、**次へ** をクリックします。

通常、**デフォルトの差出人電子メールアドレス** に設定するメールアドレスは、メールサーバと同じドメイン名になります。
(例：xxxxx@yyyyy.co.jp ドメイン名とは@の右側部分)

電子メールセットアップ

電子メールの設定

差出人: F7781の差出人 ユーザーによる編集が可能

F7781の差出人電子メールアドレス* F7781表示名:

件名: ユーザーによる編集が可能

アドレス: ユーザーによる編集が可能

前へ **次へ** キャンセル

2.9. 必要に応じて、メール添付するファイルタイプや解像度などを設定し（変更しなくても結構です）、**次へ** をクリックします。

電子メールセットアップ

ファイル設定を設定

ファイルタイプ: PDF 紙/黒: 紙または1/10を自動検出

品質およびファイルサイズ: 中 (デフォルト) 解像度: 200 dpi

前へ **次へ** キャンセル

2.10. 終了をクリックします。

2.11. 「操作は正常に完了しました。」と表示されたことを確認します。

2.12.EWS 画面で、

- (1)左面で、**[スキャンして電子メールで送信]設定** をクリックします。
- (2)**スキャンして電子メールで送信の有効化** にチェックが入っていることを確認します。

情報 一般 コピー/印刷 **スキャン/送信** ファックス 製品 サービス トレーニング セキュリティ HP Web サービス ネットワーク

(1) [スキャンして電子メールで送信] 設定 > デフォルト設定のオプション

この機能を使用すると、スキャンした文書を電子メールの添付ファイルとして1つ以上の電子メールアドレスに送信できます。

スキャンして電子メールで送信の有効化 (2)

送信電子メールアドレス (SMTP)

メールアドレス	ポート番号	使用状況
<input type="checkbox"/> mail.tokods.com	25	電子メールを送信

デフォルトの電子メール送信制御

この機能は、コピーが編集可能なファイルかどうかを確認し、各ファイルに必要な設定を選択します。選択のいずれかでコピーが行われる必要がある場合は、基本設定を設定して「デフォルト」に移動し、移行を要求します。

差出人:

デフォルトの差出人: コピーによる編集が可能

デフォルトの差出人: *

デフォルト表示名:

注記: これはデフォルト設定です。設定されている場合、表示名はデフォルトの「差出人」ではなく「ファイル名」に表示されます。

詳細設定 適用 キャンセル

3. 動作テスト

3.1. EWS 画面で、

- (1)左側のペインで、**[スキャンして電子メールで送信]設定** の **デフォルトジョブオプション** をクリックします。
- (2)サーバ名 にチェックを入れます。
- (3)**編集...** をクリックします。



3.2.そのまま、**次へ** をクリックします。





3.3.そのまま、次へをクリックします。

送信電子メールサーバ (SMTP)

サーバ認証要件

このサーバによる認証が不要

このサーバに認証が必要です

認証の確認

前へ **次へ** 終了 キャンセル

3.4.そのまま、次へをクリックします。

送信電子メールサーバ (SMTP)

サーバ使用状況

このサーバから電子メールを送信する機能を選択してください。SMTPサーバの設定は、これらの機能を有効化する手順のうちの1つです。
このサーバを次の目的で使用

電子メールで送信した文書およびサーバのステータス通知を送信します。

ファックス: ファックス送信方法がインターネットファックスに設定されている場合、ファックスを送信します。

自動電子メール: このデバイスによって送信される自動電子メールの例としては、デバイス警告、スケジュールされたレポート、ファックスアーカイブなどがあります。

AutoSend: サーバの情報を HP または他の受信者に送信します。

前へ **次へ** 終了 キャンセル



3.5. テストメールの送信先メールアドレスを入力して、**テスト** をクリックします。

情報 一般 コピー/印刷 **送信電子メールサーバ** ファックス 製品 トレーニング セキュリティ HP Web サービス ネットワーキング

送信電子メールサーバ (SMTP)

概要および状況

- SMTP 79' s2: mail.yyyyyy.co.jp
- SMTP SSL プロトコルは無効です
- 9-n' でポート 25 を使用します
- 9-n' による認証が不要
- 9-n' 使用状況: 電子メールを送信

テスト電子メールを送信:
abc@xyz.com

前へ 次へ **終了** キャンセル

3.6. テストメールが送信されます。送信完了するまで、しばらくお待ち下さい。

情報 一般 コピー/印刷 **送信電子メールサーバ** ファックス 製品 トレーニング セキュリティ HP Web サービス ネットワーキング

送信電子メールサーバ (SMTP)

概要および状況

- SMTP 79' s2: mail.yyyyyy.co.jp
- SMTP SSL プロトコルは無効です
- 9-n' でポート 25 を使用します
- 9-n' による認証が不要
- 9-n' 使用状況: 電子メールを送信

テスト電子メールを送信:

テスト電子メールを送信しています...

前へ 次へ **終了** キャンセル



3.7. 「正常に送信しました、受信トレイまたは迷惑メールフォルダを確認してください。」と表示されたことを確認し、**終了** をクリックします。



3.8. テストメールが着信したことを確認して下さい。



4. トラブルシューティング

4.1. テストメールを送信しようとすると、以下のように『操作が失敗しました。設定を確認して、もう一度試してください』メッセージが表示されることがあります。



A) DNS サーバを正しく指定していることを確認して下さい。

4.2.EWS 画面で、

- (1)上部にあるメニューバーで、**ネットワーク** をクリックします。
- (2)新たに表示された左面で、**TCP/IP の設定** をクリックします。
- (3)表示された画面中央で、**ネットワーク ID** をクリックします。
- (4)正しく DNS サーバが指定していることを確認し、違っていれば修正します。



B) SMTP サーバのサーバ名やポート番号が正しいことを確認して下さい。

4.3.EWS 画面で、

- (1)左側のペインで、**[スキャンして電子メールで送信]設定** の **デフォルトジョブオプション** をクリックします。
- (2)サーバ名 にチェックを入れます。
- (3)**編集...** をクリックします。

サーバ名	ポート番号	サーバの使用状況
mail.yyyyy.co.jp	25	電子メールを送信

4.4.SMTP サーバの **サーバ名** や **ポート番号** が正しいことを確認し、違っていれば修正します。

送信電子メールサーバ (SMTP)

サーバに接続するために必要な基本情報を設定します。

サーバ名 *	ポート番号 *
mail.yyyyy.co.jp	25

このサイズより大きい場合電子メールを分割 (MB 単位) *

0 (0-100.000)

電子メールは、指定したサイズより大きい場合、複数の電子メールに分割されます。値が 0 の場合、電子メールは分割されません。

SMTP SSL/TLS プロトコルの有効化



C) SMTP サーバの TCP ポート (デフォルト: 25) がオープンしていることを確認して下さい。

4.4.パソコンから Windows PowerShell のコマンドレット Test-NetConnection を使って確認することができます。

コマンドプロンプトを立ち上げて、次のコマンド入力し、**Enter** キーを押します。

PS C:¥> Test-NetConnection <SMTP サーバ名> -port <ポート番号>

アクセス確認ができると、TcpTestSucceeded: True と表示されます。

例、PS C:¥> Test-NetConnection smtp.test.local -port 25

アクセス確認ができた場合 : True が表示されます。

```
コマンドプロンプト - powershell
PS C:¥>
PS C:¥> Test-NetConnection [redacted] -port 25

ComputerName      : [redacted]
RemoteAddress     : [redacted]
RemotePort        : 25
InterfaceAlias    : Ethernet1
SourceAddress     : [redacted]
TcpTestSucceeded  : True

PS C:¥>
```

アクセス確認ができなかった場合 : False が表示されます。

ネットワーク管理者、又は契約している E メールプロバイダーにご確認下さい。

```
ComputerName      : [redacted]
RemoteAddress     : [redacted]
RemotePort        : 25
InterfaceAlias    : Ethernet1
SourceAddress     : [redacted]
PingSucceeded     : False
PingReplyDetails (RTT) : 0 ms
TcpTestSucceeded  : False
```

